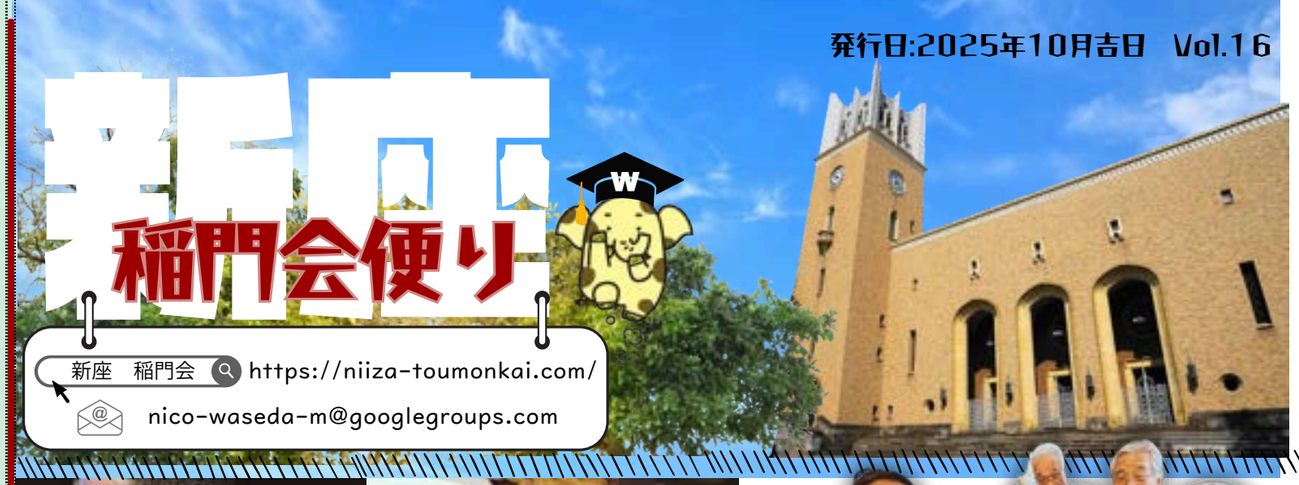
発行日:2025年10月吉日　Vol.16

新座 稲門会便り

新座　稲門会　https://niiza-toumonkai.com/
nico-waseda-m@googlegroups.com



おかえりなさい、伊藤博さん・幸子さん

出会えた仲間たち

クラシック×フレッシュ＝早稲田魂

このまちで

2025/6/14新座稲門会総会

みなさまからの投稿コーナー

アート＆エモーション

香かおり

秋浦良子
85法

7月19日、20日@ふじみ野市立産文センター
VIVA　LA　VOCE　第18弾講演
イタリア語上演／フジ役

9月6，7日@福生市民会館　劇団宇天那カンパニー第13回本公演
ミュージカル「天使にラブソングを…」 修道院長役

志木の田子山富士塚

隣町志木市の敷島神社内に「志木の田子山富士塚」があります。高さ約９ｍ、直径約３０ｍの丸みのある方形をした富士塚です。１８７２年（明治５年）に、古墳と言われてきた「田子山塚」の上に築造され、「志木の田子山富士塚」となり、２０２０年には国の重要有形民俗文化財に指定されました。
この富士塚の頂上からは富士山を見ることが出来ます。
しかし、築造から１５０年以上経過し、過去の豪雨や地震の影響で、塚の盛土の軟弱化や一部崩壊等が見られ、何らかの対策をする必要性が出てきました。そこで、「志木の田子山富士塚保存活用計画策定委員会」が志木市で設立され、種々の地盤調査を実施した後、その調査結果をもとに対策等を検討することになり、私も委員の一人として参加しております。現在、田子山富士塚は原則的に、大安と友引の日に頂上まで登る事が出来ますので、天気のいい日には是非とも頂上まで登り、富士山をご覧になってみてください。

（文：伊藤雅夫）

一年に一度、一夜だけ咲く花――月下美人。
九月三十日、副会長・篠原さん宅で、その瞬間を迎えた。
ひと時にこめた全力の美しさ。それもまた、早稲田魂。

題「総会」
新人を迎える歓喜半夏生（はんげしょう）
元気なる校歌を讃えあめ雫（しずく）

題「鮎の会」
船頭のグイと棹差す船遊び
舟下り橋裏の先に紺碧の空
舟下り秩父訛りの飛び交（かい）いて

74 田中隆一 商

題「鮎の会」
歳を経し好誼たのもしけふもまた
秩父の里に　弾むさざめき
岩ばしる長瀞の鮎を友がきと
味はへるけふの幸かぎりなし

75 高梨潤一郎 文

後記 編集

新たに多くの仲間が加わってくれた喜びを胸に、新旧のつながりを大きく育てていきましょう。
稲門会、今が“青春の再来”です！！←いい表現！自画自賛ｗ　（文；田口訓子　04一文）

二〇二五年　上半期のハイライト

5月11日（日）森の音楽会　～春～

17回目を迎えた「森の音楽館」は、今回も豊かな内容と温かな人の輪に包まれました。ISSEIこと小見野成一さんの呼びかけで、毎回多彩なゲストが登場し、その交流の広さには毎回驚かされます。おかげで、観客も毎回、新しい音との出会いが。

今回のゲストはプロ朗読家の稲本由美子さん。森の空気を含むように響く声が印象的。新座市在住の里神楽伝承者である石山裕雅さんからは、横笛演奏のサプライズ。ギターの響き、ノコギリの細く澄んだ音、朗読の声に横笛の和の音色。観客だけではなく、森も野鳥も、その調べに満たされていたに違いありません。

6月14日（土）2025年　総会

表紙の写真をご覧ください。にぎやかな様子が伝わるでしょうか。集合写真の皆さんの顔、最高です！
今年度、我が稲門会では「新会員拡大キャンペーン」を実施しました。前回の会報と入会案内を、市内在住の稲門の皆さんへ送付した結果、なんと12名の方から入会希望のご連絡が！
そのうちの4名が今回の総会に初参加してくださいました♬
新会員4名を含む総勢21名が、ひばりヶ丘駅北口の「やきとんてるてる」に参集。
当日は、伊藤会長のご挨拶、村野さんによる乾杯、新会員の自己紹介、齋藤幹事長から6つの議題説明があり、全会一致で承認。
会場は個室ではなかったため、校歌斉唱は諦めていましたが、お店のご厚意により、池田顧問の名リードによる校歌斉唱が叶いました（涙）
お店の空気が一瞬で早稲田色に染まり、アルコールで赤くなった我々の頬も、さらに紅潮したのでありました。
散会後は希望者でカラオケへ。笑って歌ってめでたしめでたし♬

7月3日（木）鮎の会 in 長瀞　ー初夏の部ー

年2回、春と秋に開催される恒例の「鮎の会」。春は稚鮎（若くて香りがよい）を味わう回で、今回は新メニュー・鮎の酒蒸しが登場。出汁のうまみとタケノコの香りが最高！
食後は満腹のお腹を抱え、がんばって川下りと自然博物館巡りで汗をかきましたよ。
秋は脂ののった落ち鮎（子持ちの成魚）を楽しむ予定です。
毎年７月頭前後と10月末前後で開催しており、斎藤幹事長から案内のメールが流れます。
この機会でないと、なかなか食す機会もないと思うので、ぜひご参加くだいね。

7月5日（土）早稲田大学商議員会

商議員を務める伊藤会長と篠原副会長が出席。

＜報告＞

商議員会では、会員からの会費をもとに大学への寄付を行っており、本年度は200万円増の1,400万円を拠出。財務状況は健全で、資産運用の拡充を進めるとの報告も。田中総長からは「国際卓越研究大学」への再挑戦が語られ、建学の精神に基づく世界貢献の方針と、志ある学生の育成が強調されました。

商議員ってなに？　早稲田大学商議員会は、大学の発展を支える卒業生や関係者による後援組織です。
商議員は、大学への寄付や支援活動を通じて、早稲田の教育・研究を応援するメンバーのこと。
商議員の多くは稲門会の仲間でもあり、稲門会が「卒業生同士」の交流を育む場としたら、商議員会は「大学を支えるつながり」を担う存在です。

7月19日（土）5市稲門会合同 設立１５周年式典・祝賀会

朝霞市民会館「ゆめとぴあ」にて、５市稲門会合同の設立15周年記念式典・祝賀会が開催されました。
各稲門会の功労者が顕彰され、新座からは以下の4名が讃えられました。

・会長　伊藤雅夫さん（創立２年目から現在まで会長職を務める）
・幹事　細川太嘉司さん（稲門会設立に尽力し、副会長兼幹事長として会務を統括）
・故　今野一男さん（稲門会設立に尽力し、事務局長を務めた）
・副会長兼会計　秋浦良子さん（設立時より副会長兼会計幹事を務める）

祝賀会では、幹事の田口訓子さんが和光市の幹事と共に司会を務めました。

特別企画として、総武相撲甚句会による相撲甚句の披露が行われ、観客も合いの手をいれるなど参加型の公演に盛り上がりました。
　調整や冊子づくりに尽力して頂いた細川太嘉司さんも、早稲田を題材にした演目に参加され、会場に新座稲門会の存在が光りましたよ！
奇遇にも、甚句会にも稲門の方がいらして、まさにーーーふり向けばそこに早稲田！！

締めくくりは、応援部OB・朝霞稲門会の原田弘通さんのリードによる校歌斉唱。思わずアンコールしたくなりましたが、大人なのでぐっと我慢。

次は20周年目指して更に絆を深めましょう。

7月29日（火）五市稲門会親睦麻雀大会

秋晴れの一日、針谷コミュニティセンターに18名のメンバーが集まり、朝9時半から夕方4時半まで熱戦を繰り広げました。
団体戦では、西森会長の奮闘もあって朝霞稲門会が見事優勝！
 個人戦では志木稲門会の岡野さんが栄冠に輝きました。
 新座稲門会は惜しくも団体5位。個人戦では準優勝とBB賞を獲得し、しっかりと実利（!?）を得ることができました。
 次回開催時も案内メールを流しますので、ご参加をお待ちしています！